

# 大阪市立大学 第5回 FD 研究会

【全体テーマ】

## 学生が自立的に学べる・学び続ける大学教育をどう実現するか —カリキュラム, 授業方法, 評価の連携—

大学教育の成果として考えうるものには、幅広い教養、専門知識、思考力など多様なものがありますが、それらを授業等で教えてさえいれば、学生がそれらを身につけるというものではありません。教室を離れても学生が自立して学ぶ（自らの学習を設計して実行する）ことがなければ、大学教育の目的を達成することはできません。学生の自立的な学びを実現するために、大学として教育をどのように工夫・改善すればよいのかについて、授業方法の工夫のみならず、カリキュラム作りや評価（成績評価・授業評価等）のありかたも含めて広く議論したいと思います。

日時：2007年11月1日（木）午後1時～5時（終了後、茶話会）

場所：大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター10階会議室

### プログラム

12:30 . . . . . 受付開始

13:00 ～ 14:30 . . . **基調講演 「学士課程教育のあり方について」**

講演：絹川正吉 国際基督教大学前学長・名誉教授

「特色ある大学教育支援プログラム」実施委員会委員長

司会：飯吉弘子(大学教育研究センター)

14:40 ～ 15:40 . . . **事例発表**

① Continuing English Education

発表者：英語教育開発センター Darren David 特任講師

② 学生の自立的な『学び』を促す初年次教育—数学科1年次専門科目

『数学要論B』での取り組み—

発表者：理学研究科 高橋太准教授

③ 自ら課題を発見・解決する「考える実学」教育について—商学部・

現代GPでの取り組みを中心に—

発表者：経営学研究科 鈴木洋太郎教授・中瀬哲史教授

15:50 ～ 17:00 . . . **グループトークと全体討論**

(基調講演と事例発表をもとに、フロアでのグループ討論と全体討論)

司会：岩井一宏(医学研究科/大学教育研究センター)

西垣順子(大学教育研究センター)

17:00 . . . . . 閉会